

# 2006年度公開講座報告

2006年度本研究所の専任教員は、2005年度と同様に森村洋子教授、藤田智助教授、本多洋子助教授、宮内泰之講師の4名で、意欲的な講座を多く開設実施することができた。また、研究所所属外の教員や学外の講師にもご協力をいただき、受講生に喜ばれる充実した講座を開催できたことに感謝している。その内容を簡単に報告する。

## 春期公開講座報告

### 第52回「花の栽培—初心者からのステップアップ」

講師：村上睦朗(恵泉女学園園芸短期大学名誉教授)

4月19日(水)～7月12日(水)、15:00～17:00、全5回、参加者：12名

内容：栽培の基礎を踏まえて実際の花栽培の技術を高めることを目的とする。タネの発芽と育苗法、挿し木繁殖と育成、花卉の分類と栽培管理、土の配合、肥料の施し方、バラのコンテナ栽培など。

### 第53回「花壇植物を楽しむ」

講師：西村悟郎(本学人文学部教授)

4月18日(火)～7月11日(水)、15:00～16:30、全12回、参加者：8名

内容：花壇に植栽する一年草・二年草・宿根草の実物を見て学ぶ。植物の名称・その由来、原産地、特徴、用途などを解説する。また、花壇の種類や管理維持方法等を学ぶ。講座を通じて知った花を使用する花壇設計にも取り組む。

### 第54回「バラを育てる」

講師：野村和子(バラ文化研究所)

4月8日(土)～7月8日(土)、14:00～15:30、全4回、参加者：44名

内容：バラ栽培の基本、系統、楽しみ方を学ぶ。5月13日(土)は、千葉県佐倉市で、講師が所属するNPOバラ文化研究所が管理運営を引き受けてい

る千葉県佐倉市の「草ぶえの丘」にあるオールドローズを植栽しているバラ園を見学した。

#### 第55回「ハーブの楽しみ」

講師：小泉美智子(小泉ナーセリー代表)

4月14日(金)～7月28日(金)、13:20～14:50、全7回、参加者：15名

内容：ハーブの栽培、歴史、薬効、ガーデン設計、栽培方法を、毎回My Cupでハーブティーを楽しみながら学ぶ。参加者は講師が持参したハーブを分けていただき持ち帰った。

#### 第56回「タネから育てる花壇づくり」

講師：山浩美(山・高瀬計画室代表取締役)

4月12日(水)～7月5日(水)、時間：11:00～12:30(講義)、13:20～14:50(実習)  
全7回、参加者：27名

内容：多摩キャンパス内前庭花壇での実習を行い、講義で学ぶ花卉に関する知識の実践を行う。天候に関わりなく作業がある。厳しい中での育苗管理・花壇管理は、学生・教員・来訪者を和ませている。

#### 第57回「世界の庭と都会の緑を見る」

講師：二宮考嗣(セイセイナーセリー代表)

4月24日(月)～8月28日(月)、時間：11:00～16:30、全4回、参加者：12名

内容：講師は、ガーデン設計で有名な事業家である。講師自身が設計したガーデンの説明や豊富な経験を踏まえたガーデン設計の解説があった。また、東京ディズニーランドガーデンや昭和記念公園見学、夏の寄せ植えを実施した。

#### 第58回「ベランダから室内を彩り豊かに」

講師：中本美和(日本シーダー(株)取締役)、山根景子(草もの盆栽作家)、浅岡みどり(園芸家)

4月15日(土)～6月17日(土)、14:00～16:00、全4回、参加者:15名

内容:各回担当講師によるオムニバスの講座。第1回(4/15)は、中本講師の「白い花のハンギングバスケット」。第2回(4/22)は、山根講師の「正式な根洗い」の作成、第3回(5/13)は、浅岡講師の「子どもとつくるテラリウム」、第4回(6/17)は、中本講師の「夏のハンギングバスケット」。楽しみは、毎回異なる作品づくりである。

#### 第59回「花のある暮らし—花の贈り方について」

講師:本多洋子(本学園芸文化研究所助教授)

4月28日(金)～7月7日(金)、13:30～16:00、全5回、参加者:10名

内容:植物素材(生花、ドライフラワー、押し花)の選択と取り合わせを考えて、あなたの大切な人の喜びと驚きを引き出すような花の贈り方を学ぶ。母の日、父の日、花束を贈る、ブリザーブドライフラワーを贈る時の工夫を試みた。

#### 第60回・第70回「スパイスの飾り花を作ろう」初級編・中級編

講師:本多洋子(本学園芸文化研究所助教授)

7月15日(土)・7月22日(土)、時間:10:00～15:00(初級編)、10:30～15:30(中級編)、全2回、参加者:4名(初級編)、3名(中級編)

内容:スターアニスやシナモンなどのスパイス、ツガやブナなどの木の実に、ブリヨン(金属製の飾りワイヤー)やパールをきらびやかにあしらって飾る。初級編は、オルゴール、壁掛け、ポマンダーを、中級編は、アクセサリートレー、ケルツェンシュテンダー、リースを制作した。

#### 第61回「庭作業を楽しむ」

講師:宮内康之(本学園芸文化研究所講師)

4月22日(土)～6月24日(土)、13:00～16:00、全5回、参加者:17名

内容:中低木の透かし選定、マツのみどりつみ、生垣の刈り込み、四つ目垣の造成と、季節ごとの庭木の手入れに必要な事柄を学んだ。初めての方、

多少経験がある方と多彩な顔ぶれであったが、満足した講座となった。

#### 第62回「ボタニカルアート(植物画)入門」

講師:角田葉子(日本ボタニカルアート協会代表委員)

6月17日(土)～3月17日(土)、13:00～15:30、全10回、参加者:16名

内容:植物に親しみながら、科学の目で観察し、芸術の心で描く。鉛筆、黒の絵の具、水彩画と進みながら、精密な植物画を描く楽しみを味わった。1年間の講座の実績は、2007年5月26日の恵泉スプリングフェスタで展示されることになっている。

#### 第63回「学校花壇・菜園づくりをどう進めるか」

講師:西村悟郎(本学人文学部助教授)、藤田智(本学園芸文化研究所助教授)、村上睦朗(恵泉女学園園芸短期大学名誉教授)、山浩美(山・高瀬計画室代表取締役)、宮内康之(本学園芸文化研究所講師)

8月21日(月)～8月25日(金)、10:00～16:00、全5回、大学多摩キャンパス・多摩市立教育センター、参加者:6名

内容:花と人の関わり、学校菜園—いろいろな作物の失敗事例と解決策、花壇の苗づくり—育てる喜びを実感できるように—、季節を感じる花壇のプランニング、樹木の剪定—花も樹形も楽しめる健全な樹木を目指して—、と学校教育にすぐに反映できる短期集中講義として、今後も進めて行きたい。

#### 第64回「野菜物語—春編—」

講師:藤田智(本学園芸文化研究所助教授)

4月28日(金)～7月7日(金)、13:20～14:50、全7回、参加者:15名

内容:講義を通して、野菜づくりのコツを学ぶ。トマト・キュウリ・ナス・カボチャ・エダマメ・インゲン・スイカ・メロン・ピーマン・シシトーなどの栽培失敗例を学ぶ。講座終了時には、市民農園での助言が可能なぐらいの知識の習得を目指した。

### 第65回「家庭菜園教室」

講師:藤田智(本学園芸文化研究所助教授)、来島泰史(本学園芸準備室技術員)、4月8日(土)~2月17日(土)、10:00~11:30(講義)、13:00~14:30(実習)、全16回、実習:コミュニティーガーデン野津田、参加者:27名

内容:1年間の野菜づくりの講義と実習で、他の市民農園では経験できない充足したものとなっている。農具・種苗などがすべて用意された環境での一年間の作業となるので、野菜づくりが初めてでも十分に堪能できるシステムとなっている。

### 第66回「E—野菜づくりま専科」

講師:藤田智(本学園芸文化研究所助教授)、4月1日(土)~7月31日(月)、会場:恵泉女学園大学Webサイト、参加者:3名

内容:CD-ROMとブラックボードシステムを利用したe-ラーニングシステムによる野菜づくりの講義を受講する講座。学ぶ野菜は16種、先生の講義や作業動画を見ながらの学びは、各段階での小テスト、総合テストを経て、修了に至る。希望者には5回のスクーリングで、農場(家庭菜園教室が行われているコミュニティーガーデン野津田)の見学が行った。

### 第67回「食と健康 I」

講師:森村洋子(本学園芸文化研究所教授)

5月17日(水)~7月12日(水)、13:30~16:30、参加者:7名

内容:自然・生命について学び、自然の産物である果実・野菜の食品加工法を身につけながら、自然との調和や食の重要性・安全性について考える。ブルーベリー・イチゴジャム、トマトジュース、福神漬などの加工とレイチェル・カーソンに学ぶ自然破壊への警告と共に脂肪や食物繊維を学んだ。

### 第68回「身近な樹木に親しむ」

講師:宮内康之(本学園芸文化研究所講師)

5月17日(水)~7月12日(水)、13:20~16:30

会場:多摩市立グリーンライブセンター、多摩中央公園、参加者:13名

内容:樹木の雌雄、常緑樹と落葉樹、葉のつき方と枝の伸び方、単葉と複葉、分裂葉、針葉樹と広葉樹などの講義内容を、公園の樹木で確認する。

#### 第69回「多摩の自然と植物をみつめる」

講師:宮内泰之(本学園芸文化研究所講師)、開催期間・時間等:4月15日(土)~7月22日(土)、時間:10:00~13:00、全5回、参加者:25名

内容:本多摩キャンパス周辺の小野路、町田市大戸大地沢(境川源流)、多摩川関戸橋付近、国分寺崖線と野川、高尾山の自然と植物を観察した。受講生に大変満足していただいている講座となっている。

#### 第70回「ガーデナー入門」

講師:香山三紀(香山園芸装飾士事務室主宰)

開催期間・時間等:4月21日(金)~7月14日(金)、時間:11:00~12:30(講義)、13:20~14:50(実習)、全7回、参加者:12名

内容:本講座は、庭づくりの第一歩からガーデナーの仕事を実際に体験することを目的とする。草とり、レンガ割り、道具の使い方、樹木の選定、芝の管理などの学習を、期末テストで纏める。この他に、大田花卉市場・花卉生産者見学、アンディ&ウィリアムボタニックガーデン見学なども実施した。

#### 第71回「有機園芸入門 エコロジカルライフのすすめ」

講師:澤登早苗(本学人間社会学部助教授)、5月12日(金)~7月7日(金)、11:00~12:30(10:30~12:00)、全4回、会場:磯沼ミルクファーム見学(6/2)・多摩市立グリーンライブセンター(7/7)、参加者:17名

内容:有機農業の基本を学ぶ第一歩としてこの講座を開始した。有機栽培での野菜の育て方、良質な堆肥づくり、栽培実践例としての大学教育農場見学、エコロジカルライフの学びを、会場を変えながら行った。多摩市には本講座にご協力をいただき、7/7の会場に多摩市立グリーンライブセンター・ライブホールをお借りした。

## 秋期公開講座報告

### 第73回「花の栽培—初心者からのステップアップ(2)」

講師:村上睦朗(恵泉女学園園芸短期大学名誉教授)、

9月6日(水)～12月13日(水)、15:00～17:00、全5回、参加者:14名

内容:花作りを楽しむために種類の特徴、栽培時期、肥料、用土、殖やし方などの基本的な栽培の要点を身に付けることを目標とした。パンジーの育苗、宿根草の株分け繁殖、スプレーギクの育て方、ユリの栽培を学ぶ。

### 第74回「花壇植物を楽しむ(秋期)」

講師:西村悟郎(本学人文学部教授)、

9月26日(火)～12月12日(火)、15:00～17:00、全12回、参加者:6名

内容:花の学名の由来、英語名、原産地や花が咲く時期などを、実際の花を見ながら学ぶ。半年で100余りの草花を紹介し、覚えることを目標とした。春期と同様に、学んだ植物で花壇設計を行った。

### 第75回「バラを育てるⅡ」

講師:野村和子(バラ文化研究所)、

9月9日(土)～2月10日(土)、14:00～15:30、全4回、参加者:21名

内容:バラ栽培の基本をしっかりと抑えること。秋に向けての準備、開花後の翌年のシーズンに向けての本格的な準備を行う。剪定と施肥、苗選び、植え付け、誘引、寒肥、一年間の肥料管理、木バラの剪定を学ぶ。

### 第76回「ハーブの楽しみⅡ」

講師:小泉美智子(小泉ナーセリー代表)、

10月13日(金)～12月15日(金)、13:20～15:20、全7回、参加者:35名

内容:秋から冬のハーブ利用を学ぶ。栽培、押し花染めのTシャツ制作、収穫、香を楽しむ、染色、クリスマスフレッシュリースづくり、ハーブガーデンデザイン、ミツロウのキャンドルづくりなど多彩な内容。

### 第77回「タネから育てる花壇づくり(秋編)」

講師:山浩美(山・高瀬計画室代表取締役)、9月20日(水)~1月17日(水)、  
11:00~12:30(講義)、13:20~14:50(実習)、全7回、参加者:22名

内容:秋期は花壇設計を中心に講義を行った。午後の実習で花の栽培方法を身に付けられた。花壇管理も順調に行われ、いつも花一杯の花壇を維持した。

### 第78回「Enjoy Flower Arranging」

講師:青木由美子(恵泉園芸センター講師)

11月4日(土)、14:00~16:00、全1回、

内容:恵泉園芸センターの機構変更のため、開講を取りやめた。

### 第79回「ガーデナー入門(後期)」

講師:香山三紀(香山花卉装飾士事務室主宰)、9月22日(金)~2月2日(金)、  
11:00~12:30(講義)、13:20~14:50(実習)、全7回、参加者:18名

内容:ガーデニングの魅力を中心と身体で感じられる授業を目指す。実際の問題点を語り合える授業にしたい。秋は、大田(花卉)市場、ブルーメンガルデン(生産農家)、東京ディズニーランド用花卉栽培圃場見学、ジョイフル本田君津店見学を行い、花卉の生産現場、流通過程、販売現場へと花卉流通の現状を見学した。

### 第80回「ベランダから室内を彩り豊かに」

講師:中本美和(日本シーダー(株)取締役)、浅岡みどり(園芸家)、山根景子(草もの盆栽作家)

11月18日(土)~2月17日(土)、13:00~15:30、全4回、参加者:8名

内容:各回担当講師によるオムニバスの講座。ステンドグラスとコニファーの寄せ植え、小さな球根の寄せ植え、ヤブコウジの草もの寄せ植え、小さな電車と線路の寄せ植えを作成した。

### 第81回「庭作業を楽しむⅡ」

講師：宮内泰之(本学園芸文化研究所講師)

9月16日(土)～2月3日(土)、13:00～16:00、全5回、参加者:8名

内容:秋の生垣刈り込み、中低木の秋季剪定、マツのもみあげ、幹巻き、建仁寺垣の造成と、自宅の庭を管理する方法を一回一回丁寧に教授した。

### 第82回「野菜物語—秋編—」

講師：藤田智(本学園芸文化研究所助教授)

9月22日(金)～11月10日(金)、13:20～14:50、全7回、参加者:15名

内容:野菜づくりの講義編。失敗した野菜作りを基礎から学びなおす。原産地、生理生態的特徴、栽培のメカニズム、生活との結びつき、加工・利用まで広く学ぶ。ハクサイ、ダイコン、カブ、ホウレンソウ、イチゴ、ソラマメ、タマネギなどなどを取り上げた。

### 第83回「E—野菜つくりま専科(秋編)」

講師：藤田智(本学園芸文化研究所助教授)

9月2日(土)～11月30日(木)、参加者:5名

内容:CD-ROMとブラックボードによるe-ラーニングでの野菜栽培講座。スクーリングは6回実施。コミュニティーガーデン野津田で実習を行った。有機栽培希望者には、有機堆肥を使用する対応を行った。

### 第84回「食と健康Ⅱ」

講師：森村洋子(本学園芸文化研究所教授)

10月18日(水)～1月17日(水)、全6回、参加者:11名

内容:乳酸菌と健康ヨーグルト、納豆、無農薬ナツミカンのマーマレードの実習と、抵抗力とは何か、食文化から見る日本伝統食の価値、鳥インフルエンザが伝える感染症の脅威を考えるなどの講義を行った。

#### 第85回「ブルーベリーを栽培しよう」

講師:片倉芳雄(本学人間社会学部助教授)

9月21日(木)～10月12日(木)、全4回、参加者:11名

内容:ブルーベリーの種類と品種、培養土の種類と性質、肥料の種類と性質の講義を行った。アンモニア態の窒素肥料で生育がよくなる性質を持つブルーベリー栽培法を学んだ。

#### 第87回「身近な樹木に親しむⅡ」

講師:宮内康之(本学園芸文化研究所講師)

9月12日(火)～12月5日(火)、全5回、参加者:13名

内容:つる性の樹木、樹木の果実(どんぐり)、標本の作製と観察、紅葉と落葉、冬芽、葉痕、樹皮をテーマに、樹木の性質と種類を見極める力を養うことができた。この講座は春期と同様に多摩市にご協力をいただき、多摩市立グリーンライブセンターを会場として利用させていただいた。

#### 第88回「多摩の自然と植物をみつめる」

講師:宮内康之(本学園芸文化研究所講師)

9月9日(土)～11月18日(土)、全5回、参加者:25名

内容:大学の隣接地小野路、小山田緑地、高尾山、多摩川羽村堰周辺、境川河口部江ノ島で、植物観察を行い、地図の読み方、植物の観察ポイント、植生、自然環境等を楽しみながら学んだ。

#### 第89回「多摩の自然と植物をみつめる」

講師:宮内康之(本学園芸文化研究所講師)

9月9日(土)～11月18日(土)、全5回、参加者:25名

内容:キーコーヒー株式会社インストラクター金子育子氏を講師として、コーヒーの魅力に迫った。毎回のコーヒーを入れる実習は、期待以上の楽しさであった。